

すがわら文仁

ふみ

ひと



日頃より市政運営へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本年、団塊の世代の方々が75歳以上となり、日本の3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上の後期高齢者となります。一方で、去年の日本の出生数は70万人を下回る見通しであり、本市においても少子高齢化が顕著です。

若い世代の多い戸田市においても、医療・介護を必要とする方が増える一方で、支える世代が減少する「肩車型社会」への対応が喫緊の課題です。

また、1月28日に八潮市で発生した道路陥没事故は、インフラ老朽化の問題を改めて浮き彫りにしました。本市ではこれを受け、①マンホール内点検(完了)、②管渠内点検、③路面下空洞調査などの緊急点検を実施中です。

さらに、令和2年度策定の「下水道ストックマネジメント計画」に基づき、優先度の高い管路59kmの調査を進め、緊急修繕が必要な約3.4kmについては今年度中に改修を完了する予定です。

治水対策についても、2月17日に国土交通省を訪れ、笹目川排水機場の排水能力を毎秒30トンから50トンに引き上げる要望書を提出しました。実現すれば、市内の内水被害は大幅に軽減されます。

インフラの維持管理と強化は長期的な取り組みであり、目の前の課題と並行して進める必要があります。物価高や食料価格の高騰といった市民生活の負担にも目を向けながら、「不易流行※」の理念のもと、限られた財源の中で優先順位をつけ、バランスの取れた市政運営を行ってまいります。

政治を志して20年が経ち、定期的に発行してきたこのレポートも100号を迎えました。この節目に、皆様のご支援に心から感謝申し上げます。今後も市民の皆様と対話を重ねながら、全力で市政運営に取り組んでまいります。変わらぬご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

※不易流行:伝統的な本質を踏まえ、時代の変化に応じた新しい事業や手法を取り入れていく

令和7年3月吉日

戸田市長 菅原文仁

令和7年2月20日
施政方針演説

八潮市陥没事故への本市の対応

八潮市の事故を受け、同様の事故を未然に防止し、市民の安心と安全を確保するため、市独自の取り組みを実施しています。

①マンホール内点検【実施済】

市職員が対象管路上のマンホールのふたを開け、地上からの目視により「土砂等で水が滞っていないか」「水位が正常か」などを把握する。

- ・対象管路：口径 2m以上
- ・実施日：1月31日、2月3日
- ・点検結果：異常なし



地上からの点検



マンホール内部状況



②管渠内点検

委託業者がマンホールに入孔し、目視で管内状況や堆積物の有無の確認を行う。

- ・対象管路：口径 2m以上
- ・点検費用は予備費を充用
- ・実施日：2月下旬予定

③路面下空洞調査

委託業者の専用車両がレーダーを使って陥没しかねない空洞を確認する。

- ・対象管路：幹線管渠
- ・調査費用は予備費を充用
- ・実施日：4月上旬予定



令和7年度 戸田市の 当初予算案

※2025年2月13日の記者会見をもとに作成しています。

一般会計

647億3000万0千円

前年度比+22億6,400万円+3.6%

特別会計

267億 754万9千円

前年度比+16億2,163万6千円+6.5%

全会計

914億3754万9千円

前年度比+38億8,563万6千円+4.4%

3つの重点戦略

子ども応援 プロジェクト

子どもが安心して生まれ・育つことが出来るまちへ

- 中学生の給食費無償化など、子ども・子育て世帯への支援の充実
- 学習支援や学校環境の整備による、教育の充実など

100年健康 プロジェクト

全ての世代の人が、健康で豊かに過ごすことが出来るまちへ

- 乳幼児から高齢者まで、誰も取り残されない支援・相談体制の充実
- ヘルスリテラシー向上を見据えた情報発信の強化など

防災 プロジェクト

誰もが安心して暮らせる、防災・減災のまちへ

- 災害に強いまちを創る基盤整備
- 避難行動を迅速化させるための補助制度の創設など

3つの重点戦略以外にも、刻々と変化している社会状況に柔軟に対応した施策を推進する。

- 特殊詐欺対策や防犯対策
- 市民や事業者への経済対策
- 文化芸術活動の推進
- ゼロカーボンへの取組 など

子ども応援プロジェクト

新 中学生の給食費無償化（194,764千円）

県南部初！

子育て世帯への経済的支援として、これまでの第3子以降の無償化に加え、特に教育費の負担が大きい**中学生に係る給食費を、国の方針を待たずして無償化**する。加えて、食物アレルギー等により給食の提供を受けていない生徒や、特別支援学校中学部に在籍する生徒に対し、**学校給食費相当額を助成**する。

【対象者】

- ・戸田市立中学校に在籍する全生徒（給食の提供を受けていない生徒を含む）
- ・特別支援学校中学部に在籍する生徒（市内在住者）

【対象者数】約 3,900 人【実施時期】令和7年4月分～

※給食費月額：4,600 円（年間 55,200 円）

令和7年度実施分の財源に「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用



新 ハイスペックデジタル工作機械（レーザー彫刻機）の導入（19,958 千円）

これまで

戸田型PBL（Project-Based-Learning）の取組により、子どもたちの課題解決の実践が増加し、より現実課題の解決に進化。

これから

第2期戸田型PBLスタート!!

新たなテクノロジーを活用したものづくり体験など創造的な課題解決ができる環境をつくり、子どもたちの知的好奇心を今まで以上に喚起する。

全国でも極めて珍しい取組！市内全中学校にハイスペックデジタル工作機械を導入！



想定するハイスペックデジタル工作機械

布、木材、金属、アクリル板などに印字したり、切断・彫刻などの加工ができる。

【設置場所】市内全中学校（6校）

【設置台数】各校3台（計18台）



100年健康プロジェクト

産後ケア事業・産後サポート事業 全国トップレベル！

(1) 産後ケア事業 (52,143千円)

訪問型の産後ケア事業の自己負担額を**無料化**。
宿泊型、通所型も減額し、さらなる利用の促進を図る。

ケアの種類	宿泊型	通所型 (日帰り)	訪問型
利用料金(～R6)	7,500円/日	4,000円/回	2,500円/回
	2,500円減額	2,000円減額	2,500円減額
利用料金(R7～)	5,000円/日	2,000円/回	無料

※利用上限は、**宿泊型・通所型・訪問型を通算して7回まで**



※授乳支援
の様子(助
産院未来)



※お部屋一例
(マタニティ
ケアホーム
つむぎ)

(2) 産後サポート事業 (令和7年度対象者分) (25,221千円)

産婦が受けられる**サポート**を**充実**させ、ニーズへの確に対応し、
産後ケア事業の利用促進につなげる。

○令和7年度の事業充実の方向性

- ・メニューの選択肢増
- ・実施事業者を1者→**最大10者**へ
- ・産後ケア事業と合わせて利用できるように

○令和7年度の事業形式 ※現在調整中

【委託業者】産後ケア事業委託事業者等複数者

【メニュー】利用しやすく、ニーズが高いメニューへ

メニュー案：乳房マッサージ、ベビーマッサージなど



新 「健幸アンバサダー」800人養成 (1,728千円)

市からの健康情報を口コミにより広げていく「健幸アンバサダー」を養成する。
特に年齢の若い層や健康無関心層に対して、これまで以上に健康情報を伝えていくことで、
市民のヘルスリテラシーの向上と、将来的な介護予防や健康寿命の延伸を図る。

【養成対象者】・市民・市職員 ・包括連携協定企業
・「とだSDGsパートナー事業所」の従業員など
【期間】令和7～9年度の3年間(令和6年度はモデル事業として実施)
【受講者数(目標)】800人
※令和4～6年度の3年間、市内全小学校で「キッズ健幸アンバサダー
養成講座」を実施済み。計1,270人のキッズ健幸アンバサダーを養成



健康アンバサダー

市からの
健康情報を
口コミで
伝える



防災プロジェクト

県内初！

新 「災害時自主的広域避難支援補助金 (逃げサポ補助金)」の創設 (45,000千円)

荒川が氾濫した際には市内全域が浸水想定区域となり、市内に安全な地域が存在しないことから、
水害時の避難は広域避難となる。広域避難については、市民の自助・共助に依存する形となること
から、広域避難に対する経済的な障壁を軽減するため、災害時※に市外の宿泊施設に避難した市民
の宿泊料を一部助成する「**災害時自主的広域避難支援補助金(逃げサポ補助金)**」を創設する。



【補助額】一人あたり1泊5,000円、2泊まで

※JR3駅のいずれかを含む区間が計画運休の対象となり、荒川流域での3日間積算流域雨量の予測が400mmを越えた場合に助成

継 雨水貯留管の整備 (1,069,500千円)

戸田駅西口及び新曽地区北大通り周辺の浸水被害の軽減を図るため、北大通りの地下
に雨水貯留施設(貯留量約26,000m³、内径6m、延長約920m)の整備を実施。

現在の
整備状況

シールド工

進行中

分水人孔・マンホールポンプ室の工事

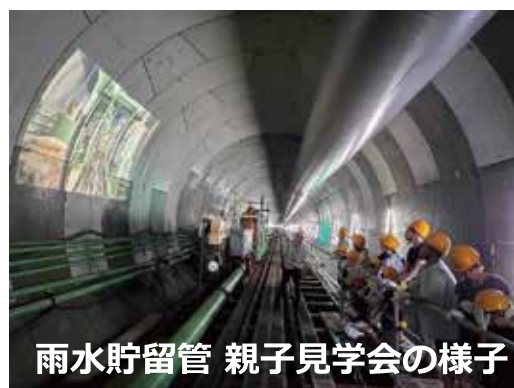
今後の
スケジュール

管理用人孔・
機械電気施設の設置

完成

※令和8年3月末予定

市民向け見学会の開催



雨水貯留管 親子見学会の様子

令和7年度のその他の取組

新 住まいの防犯対策

防犯カメラ等
2万円まで補助！

(1) 戸田市住まいの防犯対策補助金創設 (10,088千円)

住宅強盗や空き巣などの犯罪に対する、市民の主体的な防犯対策を促すため、年度内に購入した防犯設備を、住民登録上の住所の居宅に設置した市民に対し、購入・設置した防犯設備の費用を補助する「**戸田市住まいの防犯対策補助金**」を創設し、地域の防犯力のさらなる向上を目指す。

【対象者】

市の住民基本台帳に登録のある世帯

【対象品目】

防犯カメラ、センサーライト、カメラ付きインターフォンなど

【補助率】費用の2分の1(上限2万円)



(2) 特殊詐欺対策用警告アナウンス付き 自動通話録音機の貸出 (1,364千円)

高齢者の特殊詐欺被害を防止するため、固定電話機に取り付ける「**警告アナウンス付き自動通話録音機(特殊詐欺対策用)**」を無償で貸し出す事業を開始し、市内での特殊詐欺被害の撲滅を目指す。

【対象者】

- ・65歳以上の高齢者のみの世帯
- ・日中の在宅が高齢者のみであることが常態である世帯

【貸出数】200台



市長最新ニュース

国土交通大臣へ要望書提出！



今回の要望書では、以下の3点について特段の支援をお願いしました。

- ①荒川第二・第三調節池の早期完成に向けた予算の重点化
- ②笹目川排水機場の強化整備を支援する個別補助事業への採択
- ③国土強靱化計画の継続的な推進と必要な予算・財源の確保

これからも、国・県・市が連携した治水対策の推進に向けて、戸田市の浸水リスク軽減に向けた取り組みを全力で進めてまいります。

カンブリア宮殿で紹介されました！



テレ東の「カンブリア宮殿」のボーネルンドの特集で、ボートレース戸田の取り組みである子どもの遊び場「モーヴィー」が取り上げられました。これからも「入場者数日本一のボートレース戸田」として、売上げ向上はもとより、地域貢献と社会貢献に取り組んでまいります！

新曽小学校増改築が完成！



児童増と躯体の老朽化に対応するため、給食棟、教室棟など4年以上かけた整備が完成しました。地域の方々から寄贈された学校名プレート、校舎の顔となる立派なピロティ。教室はシンプルな中にも、木のぬくもりを生かしつつ、全室最先端のホワイトボードと電子黒板を使用するなど、児童がより快適な環境で学習できる工夫が盛り込まれています。

埼玉チャリティ歌謡祭に出場！



元日のテレ玉「埼玉政財界人チャリティ歌謡祭」に出場し、市内のダンス教室の子どもたちと一緒に必死に覚えたダンスを踊りました。

レポート100号発行(2025年3月)
菅原文仁後援会 【討議資料】
〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F
TEL/FAX 048-432-3585
HP sugawarafumihito.com
Email mail@sugawarafumihito.com

【略歴】昭和50年7月30日生(49歳) ■戸田市立美谷本小・美笹中・伊奈学園総合高校
■日本体育大学卒業(教員免許)・明治大学大学院修了(公共政策) ■元社会体育会代表
■戸田市議6年(2期) ■埼玉県議7年(2期) ■第4代 戸田市市長(平成30年～)
■戸田ボートレース企業団企業長 ■蕨戸田衛生センター副管理者 【家族】両親・妻・娘・息子
【趣味】読書・ランニング 【座右の銘】上杉鷹山公の「なせば成る、なさねば成らぬ、何事も」